

「赤ずきん」の鑑賞、解釈、再解釈

お母さんに頼まれておばあさんのところへ食べ物を持っていった女の子が途中で狼に会い、花をつんでいるうちに、先回りした狼がおばあさんを食べ、訪ねてきた女の子をも食べてしまうという「赤ずきん」のお話は、世界中で親しまれています。各国の赤ずきんはそれぞれの国、それぞれの時代の挿絵画家によってさまざまな姿で描かれています。話の結末はペロー童話、グリム童話の「赤ずきん」で違っていますが、さらに新しい解釈でまったく違う話のようにもなっているものもあります。また、赤ずきんにヒントを得て作られた新しいお話もあります。さまざまな赤ずきんをお楽しみください。

<各国の赤ずきん> 各国の赤ずきんを集めてみました

- 1) Caperucita roja (赤ずきん) / Jacob y Wilhelm Grimm ; ilustraciones de Carmen Segovia. Madrid Anaya 2003
当館請求記号 (Y17-B5860)
(出版国 スペイン) 一度、狼にひどいめにあわされた赤ずきんは、以後はお母さんのいいつけを守って、より気をつけるようになりました。
- 2) Little Red Riding Hood and other stories (赤ずきんとそのほかのお話) / Charles Perrault ; translated from the French by A.E. Johnson ; with illustrations by W. Heath Robinson. London D. Campbell c1996.
当館請求記号 (Y8-A928)
(出版国 イギリス) ペロー童話集。「赤ずきん」の挿絵はイギリスの挿絵画家ヒース・ロビンソン (1872-1944) のものです。おばあさんの家に入った赤ずきんはずきんを外したワンピース姿で描かれています。
- 3) Cappuccetto rosso (赤ずきん) . Ponzano Magra Cartedit c2002 当館請求記号 (Y17-B4981)
(出版国 イタリア) 狼は完全に擬人化され、ズボンをはき、帽子をかぶっています。おばあさんは押入れに隠れ、あやういところで気がついた赤ずきんは外に逃げ出します。そこにやってきた猟師に救われます。
- 4) Cappuccetto rosso (赤ずきん) / Kimiko. Milano Babalibri c2001. 当館請求記号 (Y17-B3140)
(出版国 イタリア) 仕掛け絵本です。狼は狼ですが、他の登場人物はみな犬として描かれています。フランス語版からの翻訳です。
- 5) Красная шапочка (赤ずきん) / Ш. Перро ; рисunki B. Dekhtereva ; [perevod s frantsuzskogo pod redaktsiei S. Marshaka]. Moskva Izd-vo "Pravda" 1953
当館請求記号 (Y17-A1974)
(出版国 旧ソ連) ペロー童話からの訳となっていますが、赤ずきんとおばあさんは、最後に樵たちに助けられます(猟師ではない)。同じ挿絵画家ですが、狼の表情がさらに険しい版もあります(当館請求記号 Y17-A1975 題名同じ)。
- 6) Красная шапочка (赤ずきん) / Ш. Перро ; рисunki E. Bulatova, O. Vasileva ; perevod s frantsuzskogo pod redaktsiei S. Marshaka. Moskva Izd-vo "Malysh" 1970.
当館請求記号 (Y17-A6651)
(出版国 旧ソ連) 文は同じですが、挿絵のふんいきは全く違います。この版の挿絵では樵たちが森に行く赤ずきんを注意して見守ったり、助けたりする様子が描かれています。

- 7) Rotkappchen (赤ずきん) / [Bilder, Linda Birkinshaw ; Text, Gisela Fischer]. Erlangen Pestalozzi c1999. 当館請求記号 (Y17-A3554)
 (出版国 ドイツ) おばあさんと赤ずきんを食べたあと眠っている狼が可愛らしく描かれています。
- 8) Czerwony kapturek (赤ずきん) / opowiada Natalia Usenko ; [ilustracje, Dorina Maciejewska]. Poznan Podsjedlik-Raniowski i Spolka c2002 当館請求記号 (Y17-A8165)
 (出版国 ポーランド) 助かったおばあさんと赤ずきんの喜ぶ様子が印象的です。
- 9) 小红帽 (赤ずきん) / 吴耀华改编,唐智华绘画 南宁 : 接力出版社 1998.10 当館請求記号 (Y17-c c-AZ131)
 (出版国 中国) 二人を助けた獵師はぶどう酒とお菓子をごちそうになります。
- 10) Rotkappchen (赤ずきん) / Charles Perrault ; illustriert von Eric Battut ; [deutsche Übersetzung von Ulrich Friedrich Muller]. Zurich Bohem Press c1998. 当館請求記号 (Y17CH-B336-A3551)
 (出版国 スイス) おばあさんの家は、森の中ではなく見通しのよい広々とした丘を越えたところにあります。
- 11) Little Red Riding Hood (赤ずきん) / retold by Rebecca Heller ; illustrated by Marsha Winborn. Little Golden Book special ed. New York Golden Book, Racine, Wis. Western Pub. Co. c1985. 当館請求記号 (Y17-A2197)
 (出版国 アメリカ) おばあさんと赤ずきんを食べ終わった狼は、おばあさんの衣装を脱いで熟睡します。赤ずきんを助けるのは斧を持った樵です。
- 12) Little Red Riding Hood = Caperucita roja (赤ずきん) / by the Brothers Grimm ; illustrated by Pau Estrada ; [English translation by James Surges]. San Francisco, Calif. Chronicle Books c1999. 当館請求記号 (Y17-A6901)
 (出版国 アメリカ) 英語をスペイン語併記。赤ずきんを助けるのは銃を持った獵師です。
- 13) Rotkappchen (赤ずきん) / Bruder Grimm ; [illustriert von] Lisbeth Zwerger Salzburg Neugebauer Press c1983. 当館請求記号 (Y19-A548)
 (出版国 オーストリア) 狼は完全に擬人化され、腰に手を当てて赤ずきんを待ったり、赤ずきんと話すときは手を合わせたりします。おばあさんに変身する狼の様子が生き生きと描かれています。
- 14) Caperucita roja (赤ずきん) . [Lima?] Impr, en Corporaon Grafica Navarrete [199-?] 当館請求記号 (Y17 PE-A4730)
 (出版国 ペルー) おばあさんは押入れに隠れて難を逃れます。
- 15) Cappuccetto rosso / Oda Taro. Milano Dami editore c1995. 当館請求記号 (Y17-A2618)
 (出版国 イタリア) 助けられた赤ずきんを最後にお母さんが迎えに来ます。
- 16) Le petit chaperon rouge (赤ずきん) / Eva Sykorova-Pekarkova ; [adaptation française de Jarmila Buzkova]. Paris Grund 1996. 当館請求記号 (Y17-A4984)
 (出版国 フランス) この本で一番怖そうなのは赤ずきんを助ける獵師です。狼は愛嬌があつてとても可愛いので、この本を読んだ子どもたちは狼に同情してしまうかもしれません。
- 17) Le Petit Chaperon rouge (赤ずきん) / d'après l'oeuvre de Charles Perrault ; illustre par Christian Roux. [Paris] Seuil jeunesse 2007. 当館請求記号 (Y17FR-R871-B9605)
 (出版国 フランス) 全体として赤を効果的に使って描かれています。最後の狼の姿が印象的です。
- 18) Little Red Riding Hood : and other stories (赤ずきんとそのほかのお話) illustrated by Yoko Imoto retold by Stuart A. Atkin Tokyo Kodansha International Ltd. 2003 請求記号 (Y9-B10)
 (出版国 日本) 赤ずきんの可愛らしさが強調されています。

<挿絵画家の活躍> 赤ずきんの挿絵で特徴あるものを集めてみました

19) دامن قرمزی (赤いスカート)

Azita Arta, Lisa Jamileh Barjesteh, Ali Boozar, Atyeh Bozorg Sohrabi, Negin Ehtesabian, Leila Falahat Pisheh, Marjan Ghaemi, Amin Hasanzadeh, Roudabeh Khaef, Golbarg Kyani, Sharareh Khosravani, Amir Maftoon, Setareh Moatazedi, Amir Hosein Mojtahedi Farz Tihraan : Shabaviz 2005
当館請求記号 (Y17-ir-AZ3855)

(出版国イラン) イランでは「赤ずきん」ではなくて「赤いスカート」と呼ばれています。本書では、イランで現在活躍中の挿絵画家 14 人が、場面毎の挿絵を競作しています。

20) Little Red Riding Hood (赤ずきん) / Jerry Pinkney. New York Little, Brown and Co. 2007.
当館請求記号 (Y17-P655-B9760)

(出版国 アメリカ) 赤ずきんはアフリカ系の風貌で描かれています。挿絵画家の Jerry Pinkney は、アンデルセン賞にノミネートされ、コルデコット賞、コレッタ・スコット・キング賞のオナー・メダルを何回も受けている人気挿絵画家です。

21) Fairy tales / the Brothers Grimm ; with illustrations by Arthur Rackham. London D. Campbell 1992.
当館請求記号 (Y8-A926)

(出版国 イギリス) 典雅な画調で人気があるラッカムの挿絵です。ラッカムの挿絵入りのグリムは 1900 年に出版されましたが、以後、何回か出版されています。

22) Rood Rood Roodkapje (赤い赤い赤ずきん) / Edward van de Vendel, Isabelle Vandenebeele. Wielsbeke Eenhoorn c2003.
当館請求記号 (Y17NL-V227-B5129)

(出版国 オランダ) 赤色が好きな女の子がいました。でも彼女の日々は灰色。でも、ある日、おばさんのところに行った日に彼女のまわりに赤い色が増え、最後は劇的な赤に彩られます。オランダの児童書のすぐれた挿絵に与えられる銀の絵筆賞 2004 年受賞作です。

23) Rotkappchen (赤ずきん) / ein Marchen der Bruder Grimm ; mit Bildern von Bernadette. Monchaltorf Nord-Sud 1980, c1968.
当館請求記号 (Y17CH-W348-B4568)

(出版国 スイス) 挿絵画家のバーナデット・ワッツはグリムやアンデルセンの挿絵で日本でも親しまれています。

24) Rotkäppchen (赤ずきん) / Gebruder Grimm ; mit Bildern von Susanne Janssen. Munchen C. Hanser c2001.
当館請求記号 (Y17DE-J35-B1012)

(出版国 ドイツ) 挿絵画家のスザンヌ・ヤンセンは、同じくグリム童話「ヘンゼルとグレーテル」で、2008 年ドイツ児童文学賞 (絵本部門) を受賞しています。おどろおどろしい挑戦的な絵が特徴です。

25) Le Petit Chaperon rouge (赤ずきん) / Rascal ; d'apres Charles Perrault. Paris Pastel c2002.
当館請求記号 (Y17-B7190)

(出版国 フランス) 抽象化された絵で構成されています。赤ずきんは最後に食べられて終わっているようですが判然としません。

26) Czerwony Kapturek (赤ずきん) / Joanna Olech ; opracowanie graficzne Grazka Lange. [Warszawa] Jacek Santorski & Co Agencja Wydawnicza [2005].
当館請求記号 (Y17-B8816)

(出版国 ポーランド) 赤ずきんの悲劇的な結末が強調されています。Grazka Lange は別の作品“Bialy niedzwiedz. Czarna krowa”で 2006 年にアンデルセン賞オナーリストに掲載されました。

27) Raconte ce que tu vois : Le Petit Chaperon rouge --Boucle d'or & les trois ours (あなた見たものを書いてください: 赤ずきん--金の巻き毛と三匹の熊) / Pacquita Maher ; [texte francais de Claude Lager]. [Bruxelles] Pastel c1997.
当館請求記号 (Y17-A795)

(出版国 ベルギー) 子どもの想像力をかきたてるということで、登場人物は記号化された絵で示されず。赤ずきんのお話にたどり着けるだけの十分な想像力が持てるでしょうか？

<こんな解釈もあります>ちょっと変わった赤ずきんを集めてみました。

28) Erase 21 veces Caperucita Roja : 21 cuentos (21の赤ずきんがいました: 21のお話) / de Ayabo ... [et al.] ; traducidos por Kiyoko Sakai, Herrin Hidalgo. Valencia Media Vaca 2006.

当館請求記号 (Y8-B4908)

(出版国 スペイン)スペインで出版されている本ですが、内容は日本で行なわれたワークショップ参加者の描いた赤ずきんの物語を収録したものです。浮世絵風赤ずきん、双子の赤ずきん、海の底に住む赤ずきんなどが描かれています。

29) Rotkappchens List (赤ずきんの悪知恵) / Ulrike Persch. Bad Soden Kinderbuchverlag Wolff [2005?]

当館請求記号 (Y17-B8493)

(出版国 ドイツ)赤ずきんは町のアパートに住んでいて、別の大きなアパートに住むおばあさんのところに出かけていきます。アパートに着くとおばあさんの姿はなく狼の痕跡があります。赤ずきんは狼を追い出そうとします。文章はグリムの赤ずきんで始まりますが、途中で変えられています。

30) Grimms Manga (漫画グリム物語) : nach Vorlagen der Gebruder Grimm / Kei Ishiyama. Hamburg Tokyopop 2007.

当館請求記号 (Y16-B206)

(出版国 ドイツ)ドイツで出版された日本人著者による「萌え系」漫画・赤ずきんです。日本での出版はありません。狼は孤独で理解されない少年として描かれています。赤ずきんとおばあさんの偏見を持たない優しさに感動した狼は赤ずきんの庇護者として生きようとします。付録として、この孤独な少年狼のスタンプ付。

31) Little red riding hood (赤ずきん) / by Marjorie Priceman. New York Little Simon c2001.

当館請求記号 (Y17-B3045)

(出版国 アメリカ)仕掛け絵本です。赤ずきんの名前はブリギッテになっています。狼は赤ずきんを丸のみにするのではなく、鍋で調理しようとしませんが、頭のよい赤ずきんは「塩と胡椒をつけたほうがおいしいわよ」といって時間稼ぎをし、おばあさんと二人で狼を追い出します。

32) Roald Dahl's Revolting rhymes (ロアルド・ダールのへそまがり物語詩) / with illustrations by Quentin Blake. London J. Cape c1988.

当館請求記号 (Y17-B2290)

(出版国 イギリス)「シンデレラ」「ジャックと豆の木」などの有名な話をあらたに解釈し書き直しています。おばあさんを食べた狼は、赤ずきんを食べようとおばあさんの服装をして待っていますが、赤ずきんに毛皮をほめられたあげく、射殺されてしまいます。で、今や赤ずきんは素敵な狼のコートに羽織るようになっているのです。

33) Das elektrische Rotkäppchen Janosch erzählt Grimm's Märchen (ヤーノッシュ、グリム童話を語る) / mit farbigen Bildern von Janosch selbst. Weinheim Beltz & Gelberg c1991.

当館請求記号 (Y8-A5744)

(出版国 ドイツ)電気仕掛けの赤ずきんが電気の森で電気仕掛けの狼に会う。登場するものはすべて電気しかけになっています。

34) Le Petit Chaperon Uf : un conte du bon vieux temps -- : theatre (小さなずきんユー・エフ : 古きよき時代のお話 : 劇) / Jean-Claude Grumberg ; illustrations de Benjamin Bachelier. Arles Actes Sud-Papiers c2005.

当館請求記号 (Y17-B6195)

(出版国 フランス)劇の脚本です。「小さなずきんユー・エフ」というのは、ナチスを思わせる服装の狼に赤ずきんがつけられたコードです。

35) La ballata di Cappuccetto Rosso (赤ずきんのバラード) / Roberto Piumini ; illustrazioni di Emanuela Bussolati. Trieste Edizioni E. Elle c1990.

当館請求記号 (Y17-A4030)

(出版国 イタリア)赤ずきんのお話の上演舞台がイラストで描かれています。

36) Red Riding Hood (赤ずきん) / retold and illustrated by James Marshall. New York Dial Books for Young Readers c1987. 当館請求記号 (Y17-A1332)

(出版国 アメリカ) おばあさんは読書をしていたのに、狼が来て妨げられたので怒ります。おばあさんは狼のおなかのなかでも読書を続けるのですが「暗くて読めなかったわ」。狼は二人を食べてしまったあと「俺っていけないヤツだ」とちょっと反省したりします。助け出された赤ずきんは、それ以後は見知らぬ人には話しかけません。やさしそうなワニが森で赤ずきんに話しかけている絵が最後のページにあります。

<狼より怖い赤ずきん?> 乱暴な赤ずきん、やさしい狼のお話です。

37) Mademoiselle Sauve-qui-peut (そこのけお嬢さん) / Philippe Corentin. Paris L'Ecole des loisirs c1996. 当館請求記号 (Y17-A2404)

(出版国 フランス) いたずらっ子の女の子に動物たちは戦々恐々。女の子を見たらいじめられないように逃げ出します。お母さんに頼まれておばあさんの家に言った女の子は狼を見つけていじめてしまいます。そこへおばあさんが帰ってきて一件落着となりました。

38) La bambina che mangiava i lupi (狼を食べる女の子) / Vivian Lamarque ; [illustrazioni di Donata Montanari]. Milano Mursia c1992. 当館請求記号 (Y17IT-M764-A2753)

(出版国 イタリア) 狼を調理して食べてしまう女の子のお話です。子どもの狼をおつかいに出した狼のお母さんは、とても不安です。裏表紙には、皿とナイフを持って狼を待ち構えている女の子の絵が描かれています。

39) Le loup sentimental (やさしい狼) / Geoffroy de Pennart [Paris] Kaleidoscope c1998.

当館請求記号 (Y17-A1867)

(出版国 フランス) 狼は赤ずきんを食べ、三匹の子豚をたべ、鶏とその子どもたちも食べてしまうというのが、物語の世界の定番です。でも家族と幸せに暮らしているこの心やさしい狼は、赤ずきんに「私を食べたらおばあちゃんが悲しむわ」と言われて、わが身にひきくらべ、それもそうだとあきらめてしまいます。三匹の子豚に会っても同様です。

40) Las tres mellizas y Caperucita Roja (三つ子のおてんば娘と赤ずきん) / M. Company, R. Capdevila. Barcelona Planeta 1990. 当館請求記号 (Y17-A3286)

(出版国 スペイン) スペインで人気の「三つ子の女の子」シリーズの1冊です。三つ子のおてんば娘は赤ずきんと協力して狼をつかまえてしまいます。

41) Clever Polly and other stories (賢いポリーとその他のお話) / by Catherine Storr ; with pictures by Dorothy Craigie. London Faber and Faber [1952?] 当館請求記号 (Y8-B2721)

(出版国 イギリス) 人気シリーズです。赤ずきんのお話のように、狼はいつも少女ポリーを食べようとします。でも、人を信じやすく気のいい狼は、その度に賢いポリーの知恵にひっかけられて食べることができません。

<その後の赤ずきん、目撃された赤ずきん> 赤ずきんが登場するお話です。

42) With love, Little Red Hen (愛をこめて、赤いニワトリより) / Alma Flor Ada ; illustrated by Leslie Tryon. 1st ed. New York Atheneum Books for Young Readers c2001.

当館請求記号 (Y17-T875-B553)

(出版国 アメリカ) 赤いニワトリと七羽の雛は、赤ずきんが近くに住んでいる幸福谷に引っ越してきます。赤ずきんはおばあさんを助けてとうもろこし畑で働いています。狼をうまくやり過ごしながら赤いニワトリは近所の兎や熊の一家と親しくなっています。

43) Waar is Assepoester? (シンデレラはどこ?) / Charlotte Dematons. Rotterdam Lemniscaat 2002.

当館請求記号 (Y17-B8592)

(出版国 オランダ) 高層のアパートに住んでいる少女ローズは外に出てみることにします。そこで出会ったのが赤ずきん。二人は童話の主人公たちが集まっている家に行きます。そしてローズはさまざまな体験をします。

44) Once upon a picnic (あるピクニックでのこと) / conceived and illustrated by John Prater ; words by Vivian French. London Walker 1996. 当館請求記号 (Y17-A7818)

(出版国 イギリス) ある日、一家でピクニックに出かけました。くつろいでいた森の水辺には童話の登場人物がいっぱい。もちろん赤ずきんもいます。おばあさんに化けた狼を見破りながっている様子が描かれています。

45) Anno's journey (旅の絵本) / Mitsumasa Anno. New York Philomel Books 1978.

当館請求記号 (Y18-A171)

(出版国 イギリス) 1977年に出版された安野光雅の「旅の絵本」には、著者がヨーロッパを旅行したときの風景が描かれていますが、その中にヨーロッパの民話なども織り込まれています。P. [34] の左上に赤ずきんと狼の姿も入っています。

<赤ずきんが変わった?>赤ずきんから生まれた本

46) Les petits chaperons de toutes les couleurs (いろいろずきん) / Fred Elemont ; illustrations, Irene Boisvert. [Montreal Stanke 1976] 当館請求記号 (Y19-183)

(出版国 カナダ) 黄色、白、ばら色、青、緑のずきんのそれぞれの女の子の独立したお話です。狼は登場せず、カエル、白熊、象などが登場します。

47) Cappuccetto Rosso Verde Giallo Blu e Bianco (赤ずきん、緑ずきん、黄色ずきん、青ずきん、白ずきん) / Bruno Munari, Enrica Agostinelli ; illustrazioni degli autori. Trieste Einaudi Ragazzi 当館請求記号 (Y8-A3941)

(出版国 イタリア) グリムの赤ずきんのあとに、蛙たちに助けられる緑ずきん、鳥たちに助けられる黄色ずきんなど5つの話がブルーノ・ムナリーなどの挿絵とともに収録されています。

48) John Chatterton detective (探偵ジョン・シャッタートン) / Yvan Pommaux. Paris L'Ecole des loisirs c1993. 当館請求記号 (Y17-A655)

(出版国 フランス) 探偵ジョン・シャッタートンの事務所に娘が誘拐されたという母親が訪れます。赤ずきんを思わせる赤い衣装をたどっていくうちに犯人の狼の場所に行き着き、娘は無事救出されます。

49) Flossie & the fox (フロッシーと狐) / Patricia C. McKissack ; pictures by Rachel Isadora. New York Dial Books for Young Readers c1986. 当館請求記号 (Y17-I74-A938)

(出版国 アメリカ) 少女、おばあさん、ものを届ける、恐ろしい動物に会う(ここでは狼でなく狐)といった設定は同じですが、少女はもはや赤いずきんはつけずにさわやかな白いワンピースを着ています。怖い狐に遭ってもいたずらに怖がることなく、無事、おつかいを終えます。

50) Le tunnel (トンネル) / Anthony Browne ; [traduit par Isabel Finkenstaedt]. [S.l.] Kaleidoscope c1989. 当館請求記号 (Y19-A436)

(出版国 アメリカ) ジャックとローズは兄妹ですが、ローズはいつも活発な兄に頼っています。ある日のこと、トンネルに入っていった兄がいつまでも帰ってきません。ローズは勇気を出してトンネルの向こう側に行って兄を救出します。ローズの寝室の壁にかけられた赤ずきんの画、ローズの赤いコート、狼を思わせる木の根などから赤ずきんがこの話のモチーフになっていることがうかがえます。

<赤ずきんしましょ>赤ずきんを使った活動

51) Rotkappchen (赤ずきん) / Text, Nicola Baxter ; Illustrationen, Lorraine White ; [aus dem Englischen übertragen von Barbara Schnellnack]. Deutsche Erstausg. [Eltvile am Rhein] Bechtermunz c1998 当館請求記号 (Y17-A3467)

(出版国 ドイツ) 英語からの翻訳です。赤ずきんもお母さんもかなり現代的な服装をしていて、全体的に穏やかな雰囲気がただよいます。登場人物の指人形付。

52) Little red riding hood (赤ずきん) . Torrance, CA Heian International 出版年 c1999.
当館請求記号 (Y6-B113)

(出版国 アメリカ) 折紙が付いています。赤ずきん、狼、帽子、花などの折り方が示されています。
狼は最後に皮を剥がれておばあさんの家の敷物になります。

53) Caperucita roja (赤ずきん) / Jacob y Wilhelm Grimm ; ilustraciones Javier Fernando Porras ;
[la adaptacion de este texto ha sido realizada a partir de la traduccion de Roberto Pinzon y David
Cherician ; adaptacion, Martin Moreno Angel]. Santafe de Bogota Panamericana Editorial c1999.
当館請求記号 (Y6-A187)

(出版国 コロンビア) ぬり絵版赤ずきん。スニーカーにベレー帽で服装も現代的です。

<赤ずきんに似た話>

54) Lon Po Po : a Red-Riding Hood story from China (狼おばあさん : 中国からの赤ずきんのおはなし)
/ translated and illustrated by Ed Young. New York Philomel Books c1989
当館請求記号 (Y17-Y71-A639)

(出版国 アメリカ) 「ドアを堅く閉めておくように」と言って、お母さんが3人の子どもを残しておつかいに出かけます。そこにおばあさんに化けた狼がやってきますが、子どもたちは知恵を絞って狼を殺してしまいます。1990年コルデコット賞受賞作です。